

脱原発をめざす北電株主の会総会・議事録

脱原発をめざす北電株主の会 総会

1. 日時 2013年11月11日18時30分～
2. 場所 エルプラザ 2階 環境研修室 2番
3. 開会あいさつ
4. 活動報告 全般
 - ・株主総会報告
 - ・会計報告
5. 組織と人事案件
6. 会員拡大対策について
7. 次期株主提案検討
8. その他

出席者 小林, マシオン, 深町, 上野, 西野, 榊原, 柴, 東, 岡本, 関根

3. 開会あいさつ

渡部氏が仕事の都合で欠席のため、小林事務局長があいさつ

4. 活動報告

資料 1.活動報告にもとづき、関根が説明する。

…会場から資料の追加、修正の指摘ある。

資料 2.により、マシオンさんが株主総会について説明。

…質疑の内容が、総会議事録として残されるので、質問する意義がある。

資料 3.により会計報告 小林氏が報告

…帳簿、預金通帳を回覧し、現金で正しく処理されていることを確認する。

5. 組織と人事案件

渡辺代表が仕事、訴訟原告団で多忙であり退任する。

新代表は、小林善樹氏

事務局長は関根氏

事務局は現プロジェクトチーム（小林善樹、関根達夫、マシオン恵美香、渡辺恭一、深町宏美、渡部譲、岡本哲軌）が当たる。

…引きつづき事務局に参加できる人を募集しています。

6. 会員拡大対策について

資料 4.により、議決権行使書の閲覧、東京の株主名簿閲覧で 2600 人分の名簿を作成した。

---株主提案がほぼ確定したら、賛同のお願いを行う。

---本総会に来られなかった会員には、後日、資料、総会の決定事項を報告する。

---年会費については現行とおり

---株主提案の賛同者募集は、現在は 200 名程度を想定しているが、今後、事務局で整理する。

7. 次期株主提案検討

1.脱原発・再生エネルギーの利用促進

2.株主名簿の札幌での閲覧を可能にする。

3.総会出席者の議決数を明示する。

---今後さらに検討する。

8. その他

今後のスケジュール

・次会の会合は、2013/12/15(日)13:00～ エルプラザ

・ 脱原発北電株主の会のホームページの維持，更新

月日	項目	内容	会場
2012(平成24年)			
2012/3/15	泉さんより、関電の取締役に対する警告書提出の情報		
2012/3/23	北電に対しても提出しよう、3/27までに株主になろう、との呼びかけ		
2012/4/6	11人で発足を決定。		
2012/4/11	第1回脱原発をめざす北電株主の会 —名称・役員決定		エルプラザ
2012/4/25	記者会見、株主の会の発足を公表		道庁記者クラブ
2012/5/6	脱原発をめざす北電株主の会		かでの27
2012/5/18	ホームページ開設		
2012/5/27	脱原発をめざす北電株主の会	質問項目を話し合う	エルプラザ
2012/6/18	北電取締役に対する警告書郵送、	代表 河合弘之弁護士 委任状添付27名	
2012/6/27	北海道電力株主総会		東京ドームホテル
	記者会見、株主総会報告		道庁記者クラブ
	報告会・反省会		かでの27
6/27-10/26	・会員拡大運動を展開		
2012/10/27	3万株達成		
2012/11/12	東電株主運動の木村氏と面談、株主提案の実際を学ぶ		東京の喫茶店、
2012/11/15	北電株式G、法務Gと面談、会社法・定款の関係条項を入手 株主提案条件を具体的に聴取 3万株未達を知る。		北電本社
11/15-12/16	・会員拡大運動再開		
2012/12/17	勉強会 渡部譲氏を講師として株主提案の出し方を勉強。		エルプラザ
	株主提案プロジェクトチームを結成		
2013(平成25年)			
2月26日	プロジェクト会議		エルプラザ
3月12日	北電に議案書提出打ち合わせ		北電本社
3/12-3/19	様式、議案、マニュアル作成 ネット打ち合わせ	様式作成 マニュアル作成	各自

月日	項目	内容	会場
3月20日	プロジェクト会議 議案書を発送	株主提案書作成 宛名ラベル作成 住所録修正 印刷 折り, ホチキス 切手, 封筒ラベル貼り 発送	エルプラザ
4月9日	株数不足が判明		
4月16日	東京みずほ信託銀行で株主名簿閲覧		東京
4/16-4/17	賛同株主募集100通発送		
4月30日	株主提案書を北電に提出	56人 3万7300株	北電
5月10日	北電より「株主提案受理」	52人 3万5300株	
5月12日	プロジェクトメンバーがホームページ更新可能にする。		
5月14日	道新に株主提案の記事が掲載される		
5月20日	プロジェクト会議	警告書の文案作成, 提案説明者の決定	エルプラザ
5月28日	元北電社員の水島能裕氏講演14:30		クリスチャンセンター
6月10日	記者会見	株主提案	道庁記者クラブ
6月20日	北電値上げ公聴会・資源エネルギー庁		
6月25日	株主総会リハーサル		エルプラザ 東京ドームホテル
	北海道電力株主総会		
	9:00	チラシ配り 脱原発をめざす北電株主の会, 幟, 旗, バッジ	
	10:00	総会開始	
	-3号議案 「原子力発電からの撤退」主旨説明 関根		
	-4号議案 「役員報酬の個別開示」主旨説明 マシオン恵美香		
6月26日	15:00-16:00 記者会見		道庁記者クラブ
	18:00-20:00 株主総会・報告会		エルプラザ
	道新夕刊に掲載される テレビで放映		
7月5日	泊原発再稼働申請取り止めの要請書 13:00		北電本社
7月7日	東電株主運動事務局の定例会に (及び株主ニュース編集会議)参加		東京
7月8日	原発再稼働阻止全国ネットワークの抗議行動、デモ		東京
7月9日	「再稼働を許さない! 7. 8全国集会」		東京
7月9日	泊原発再稼働申請をしたことに対し抗議, 抗議文手交,		北電本社
7月12日	議決権行使書閲覧9:30~		北電本社
7月16日	議決権行使書閲覧		北電本社
7月18日	議決権行使書閲覧	8200人分	北電本社
7月18日	「北電取締役への警告書」郵送, 代表 河合弘之弁護士		

月日	項目	内容	会場
7/22-8/10	5/20~7/6警告文案作成 議決権行使書の電子化(エクセルに入力)	委任状添付18名 3号, 4号のどちらかに賛同 8112人 3号に賛同 7055人 4号に賛同 7769人 3号, 4号の両者に賛同 6712人 そのうち500株以上 3340人	
9/17-9/19	賛同者名簿閲覧・謄写--- 東京みずほ信託銀行	500株以上3340人名簿持参。2600人分を手書きで謄写。	東京
9月18日	東電株主運動の木村氏, 増田氏と面談		東京駅の喫茶店
9/25-9/30	名簿の電子化(エクセル表)	2600人分	
11月11日	脱原発・北電株主の会総会 18:30~	1. これまでの活動報告(会計報告を含む) 2. 組織問題 3. 会員増加対策 4. 次期株主総会への提案検討	エルプラザ

資料 2

平成 24 年度・25 年度 北海道電力株式会社 定時株主総会報告

私たちグループが集い始めてから 2 度の定例株主総会に参加をしました。振り返り、記録を報告します。

2012 年 6 月 28 日開催 第 88 回北海道電力定時株主総会 今年のダイジェスト

■ 「脱原発をめざす北電株主の会」のメンバーは個々に事前質問書を提出してあった。

6 名の事前質問は ML、報告会などで共有

(渡邊恭一、泉かおり、山口たか、小林善樹、本田宏、関根達夫、岡本哲軌、マシオン恵美香)

昨年度総会前日当時の株主数	7 1 4 3 8 名	議決権個数	2 0 4 0 4 7 4 個
総会出席者数	2 2 3 0 6 名	議決権個数	1 4 3 1 0 2 3 個
上のうち	2 2 0 5 名	議決権個数	1 1 3 7 4 2 3 個

インターネット行使
昨年度 680 名ほどの株主出席

■ 平成 24 年度 定時株主総会の招集通知に記してある次第通り、最初に石井副社長より書面による事前質問に対する一括説明がありました。

原発の安全対策を解説するパワーポイントを見た後、取締役から説明、会場からの質問

最初に山口たかさんが東電福島原発事故、プルサーマル、やらせ事件などについて口火を切り、泉さん、西野さん、岡本さん、渡邊代表、大嶋さん、マシオン、が発言しました。

MOX 燃料、安全対策、政府の原子力規制基準、東電福島原発事故の結果を北電側がどのように受け止めているのか、福島原発事故からのショックから覚めやらぬうちの三号機稼働問題、会社側の社外監査役の任命(親族がいる丹保氏)に関する議案に関連しての質問などが出ました。

事前に私たちを含む 1 2 人の株主から提出された泊原発の安全性や電力需給などの質問、「原発に依存するのはやめるべきだ。原発を推進する経営姿勢は道民の意思に反する」「全ての安全対策を終えてから再稼働を検討してほしい」など泊原発への質問が集中しました。これに対し、会社側は「原発は電力の安定供給に貢献しており、重要な電源として活用する」「泊原発がないと非常に厳しい電力需給状況になる」などと答えました。

「安全対策費 350 億円越え」と北電側が示す事業案の説明を受け、「防潮堤など安全対策工事が完了する平成 27 年まで当然、泊を止めておく予定？」という質問に対し、総会後の社長の囲み会見では「11 月にも稼働したい」との見解を発言していました。

■ 川合克彦社長は泊原発(後志管内泊村) 1、2 号機の再稼働について「ストレステスト(耐性評価) 1 次評価を国に提出している。再稼働できない場合の対策を進めており、再稼働後は収支の改善が見込める」と述べ、泊原発再稼働の見通しが立たない中、道民に今夏 7%以上の節電を要請。「電力供給者として大変申し訳ない」と陳謝するも「一日も早く再稼働できるよう取り組んでいくのでご理解を」、泊原発プルサーマル計画での「やらせ」問題では「再発防止に取り組み、電力の安定供給、経営安定に努める」とも述べていました。

総会議長は佐藤佳孝会長。総会は全体で 2 時間 40 分程度
閉会直後に泉さんの黄色いハンカチーフを広げてアピールしました。

資料 2

2013年6月26日 第89回北海道電力定時株主総会 今年のダイジェスト

石井副社長より書面による事前質問に対する一括説明 本年度総会出席者数はおよそ420名

1. 電気料金値上げについて
2. 原子力発電の安全性について
3. 泊原発廃止措置について
4. 使用済み燃料について
5. 再生可能エネルギーについて
6. 役員報酬について などの事項に対する説明

議事録から一部抜粋 当日質問と回答

- ・ 監査役からの報告 新日本有限責任監査法人の監査により 法令、定款に適合している議案や書面であり、指摘されるべき不具合はない。

334 西野 Q 「株主への配当金もないのに役員報酬 2730 万円平均を貰う資格があるのか？」

会社 A：平成 24 年度当初から 20%削減 役員は職務に忠実に取り組んでいる。

139 深町 Q①「赤字で配当も出さず原発 3 基の稼働を前提として消費者に電気料金の値上げを強いながら役員報酬を 2000 万円にするのは何故か？」

②「泊原発 3 号機建設の決定に関った役員は報酬及び退職金を返上すべきではないか？」

会社 A：従業員千人以上 3 千人未満の会社の役員報酬が 3200 万円であることを基準にし、電気料金値上げ後は 50%以上の削減をするつもり。

43 岡本 Q ①「前の発言者 139 の①に答えよ」（※会社側の説明が不十分だったため）

②泊原発でシビアアクシデントが起きた場合の避難計画について札幌市と協議しているのか？

会社 A：①過去の役員報酬は決定に従い支払っていることから適正 ②札幌市は地域防災計画原子力防災計画編を策定している。当社も連携して活動する旨・・・(などと他人事のように発言)

12Q ①「ここ 50 年間において世界で最も大きな地震はいつ、どこ？ 泊の場合はどの程度の地震が起こることを想定しているのか？」 ②使用済み核燃料の最終処分技術が確立していない。最後のゴミをどこでどうすると考えているのか？

会社：①平成 18 年改訂 発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針に基づく評価で泊原発の安全性が確認されている。世界の最大地震に関する知見を持たない。

②場所については選定されていないが技術的にはすでに有している。

19Q 「会社はやるべきことをやっているが信用がないので小さな事故も隠さず信頼を取り戻すべし」

会社 A： 意見として賜る

561Q ①「電気料金値上げ後、いつ配当が元に戻るのか？」 ②「原子力規制委員会から防潮堤工事が完了するまでは稼働してはならないと言われた場合、行政訴訟に持ち込んでも稼働を勝ち取る考えはあるのか？」

会社 A： ①配当時期 再稼働の時期、収支動向や経営環境などを踏まえて考えていく。②防潮堤の高さ

資料 2

には余裕がある。原子力規制委員会に社のスタンスを理解してもらい指摘などがあればその時々で対応。

※3年間でイーブン 適正利潤が確定する つまり配当は3年見送り

3 5 9 山口 Q①「原発の安全対策については？」

原子力業界をあげて福島原発の放射能を完璧に閉じ込めてから再稼働すべきではないのか？

会社 A： 移動式発電機にはケーブルが敷設されており繋げばよい状態。フィルタ付きベント設備について泊原発は型式が違い、水素爆発に至る可能性が低い。

6 3 4 本田 Q ①「会社から電気事業連合会を通じて、あるいは役員の個人で、特定の政党への政治献金があるのか？」

会社 A： 会社としては無い、個人については承知していない。

5 2 6 Q 原発再稼働が良いことなのか？ 原点にかえて考える姿勢はあるのか？

会社 A （泊原発が）世界で一番厳しい基準をめざして策定された新規制基準に適合している原発であることを原子力規制委員会に評価していただいたうえで再稼働したい。

1 3 4 Q①「東電福島原発は地震によって壊れたのか津波に因ってか？」

②積丹半島の周回道路は15メートル以下であり地震等で避難できない状況となるため泊原発を稼働してはいけないのではないのか？

会社 A： ①福島1号機の非常用復水器について、原子力規制委員会は現地調査の上、地震で壊れたのではなく、使用済み燃料プールの水が漏れたのではないかと今後の調査結果を注視すると報告している。

②積丹半島は周回道路があり、両方向避難が可能。船、ヘリコプターの使用も。

★議長はあと2名で質問を打ち切ると言い放つ。

5 3 マシオン Q「日本原燃への出資、積立金はいくらか？ 回収できない場合はどうなるのか？」

②原子力から撤退すれば原子力損害賠償支援機構への負担金を支払わなくても済み、高額配当がもらえる程度に営業実績を改善できるのではないのか？

会社 A： 日本原燃には326億円の出資、毎年同社から請求される再処理金に充当。②原子力賠償支援機構は福島原発事故以降、原子力事業の円滑な遂行などを目的として作られた法律に基づいて設立された組織であり、将来のリスクに備えて原子力事業者が相互扶助の視点で負担金を拠出する枠組み。会社は法律に基づいて請求された負担金を支払っている。

1 6 Q 質疑継続を求める動議

★議長は動議を会場に諮ったが、一瞥してただちに却下。報告事項に対する質疑を終えた。

1号議案の審議 【取締役12名の選出】川合社長による説明 議長は一人質問2問までと発言。

4 3 Q ①「泊原発で過酷事故が起きた場合、取締役は刑事責任を問われる可能性があるが覚悟はあるのか？」②国は将来のエネルギー対策において原発に依存しない社会をつくることを明確にした。将来的には原発がなくなる社会を迎えるが、長期展望に立って取締役としての抱負を聞きたい。

会社 A： ①安全性を充分確認した上で泊原発の再稼働を図る。②エネルギー政策については現政権下で検討されるだろう。当社としては原子力の放棄は得策ではないと考える。

資料 2

334 西野 Q ①「取締役一人づつに質問をし、その考えを聴いてからでなくては選任できない」

会社 A: 総会招集通知記載内容で十分判断できる。

359 山口 Q「道庁関係者で父親が北電に勤務していた佐々木亮子氏よりも提案株主から取締役を選任する方が良いのではないか？」

会社 A: 北海道副知事、公安委員長、長年にわたって企業経営者を務めた経験、知識、女性としての立場で意見を期待したい。

513 阿部 Q「政府基準を満たしての泊原発稼働が間違っていた場合、経営責任を候補者はどのように考えているのか？」

会社 A: 福島事故は大変残念な事態ではあるが、教訓を生かし、再生エネルギーと同様、CO2 排出抑制に資する意味においても、原子力を引き続き推進したい。

★ 議長は質問者あと 2 名とした。

139 深町 Q「道庁から天下りを受ける系列会社 北電総合設計に対し、活断層の再踏査を委託しているが、このような身内依存、天下り受け入れの姿勢が在る中で役員は泊原発の安全などに責任を取れるのか？」

会社 A: 北電総合設計の道庁出身者は技術的専門知識を有するアドバイザーとしてありがたい。

16Q 「若い職員が 10 年後、路頭に迷うようなことはないと宣言してほしい」

会社 A: (会社経営は) 駅伝のように先輩から貰ったタスキを後輩に渡していくものであり、できれば状況をもっとよくして後輩に引き継ぎたいと日頃から心がけている。

★ 一括選任。議長は議場に諮り、会場を一瞥して原案の通り承認。

2号議案の審議 監査役 2 名の選出

53 マシオン Q (何故か、どなたも発言しないため適当なことを言って時間稼ぎ)

「二人の候補者は厳しい経営状況にある当社の監査役をどのような思いで引き受けたのか？」

会社 A: 候補個人に対する質問は受け付けない

16Q 「本議案には賛成するが、最終責任は取締役ではなく監査役にあることを充分ふまえて勤めてもらいたい」

会社 A: 意見としてうかがっておく。

★ 議長が議場に回り、一括選出、承認。

株主提案

第三号議案 定款一部変更の件 (一) 96 番(関根達夫)補足説明

第四号議案 定款一部変更の件 (二) 53(マシオン恵美香)補足説明

川合社長: 「取締役会としては両議案に反対である」

53Q(マシオン発言) 4号議案 会社への質問

「北陸電力など経営事情の良いほかの電力会社並みに役員報酬を 1800 万円程度に折り合いをつけるべ

資料 2

しと消費者庁から聴いているが？」

会社 A： 他社が申請する額にコメントする立場にないが、当社の申請額は50%以上削減の2000万円とした。」

359 山口 Q 3号議案 会社に対しての質問

「放射性廃棄物の問題を先送りにし、技術開発をまたずに見切り発車した企業の社会的倫理的責任についてどう思うか？」

会社 A: 場所は確定していないが、技術的基盤は有している。ほかの電力会社各社、政府、原子力発電環境整備機構に協力していきたい。

43Q 3号議案 会社に対しての質問

「泊原発は福島原発のような事故には至らない」と判断している取締役には管理を任せられないので、文言を変えることはできないか？」

会社 A： 取締役会の意見を変えることはできない。*福島原発事故の原因は津波の襲来により電源やポンプなど機能を全て喪失したためと理解している。今後も安全性を高めていく。

★ 議長 質問あと2名 と発言

513Q 3号議案 会社への質問

「福島原発事故は発生確率0%としていたのに起こった。新規制基準を守ってさえいれば同様の事故は起こらないとする根拠を示して欲しい」

会社 A： 事故は絶対起きないと言っているのではなく（！！） 福島において15メートル程度の津波の襲来により全ての機能を喪失したことへの対策を講じたことから、同程度の津波が来ても福島と同様の事故には至らないことを説明したのものであり、それ以外の事故等についてはさまざまなリスクや事故への対応が規定された新規制基準に的確に対応していく。

取締役 A： 福島の反省点。一つの事象で全ての機能が喪失した。事態防止のための対策が必要とされることが教訓。多様な対策が必要。福島の汚染水は他社のことなので具体的に述べることは控えたい。貯蔵タンクに地下水が流入しないよう凍土壁を作ると聞いている。汚染水を処理後に放出することに尽きる。

★ 議長 第三号、四号議案を採決。会場を一瞥し、瞬時にして反対多数とした。午後0時42分閉会。

議事録から 一括回答にあった支出額に関連して

泊原発1, 2, 3号炉を全て解体するための総見積額は、現在の試算で1400億円。これに対し、泊原発が停止していても維持管理費用は年間800億円としている。

増税を考慮し、一般廃棄物処理費用を試算すると、2年程度かけて廃炉にするほうが安上がりなのではないかとさえ思える額です。（※机上の試算だとしても現実には2年で廃炉は無理です）

泊原発を停止し火力発電に依存したことで燃油代金が640億円も多くなったことが支出の部の内訳に出されていますが、原発の維持費用はこれに比較しても破格に高いので、どうせ廃炉にするのなら早いほうがよいということも同時に表しています。稼働させれば収入も出るでしょうが、管理が厄介な使用済み核燃料の量が増え、未来には更に支出の部が膨らみます。

資料 3

脱原発をめざす北電株主の会 会計報告 2013. 11. 11

収入の部

会費	<u>45人@2000</u>	90,000
寄付・カンパ		204,400
徴収会場費		5,000
計		299,400

支出の部

会場費	5回分	17,610
事務経費		7,677
郵送料		13,790
印刷・コピー		6,845
横断幕, 幟, バッチ		28,430
旅費支援		125,031
緊急募集		49,462
計		248,845

差引残高		50,555
内訳	現金	9,336
	振替口座	41,219

事務局 小林 善樹

議決権行使閲覧集計

資料4

議案	議決票閲覧		北電が金融庁に報告した数				株主数, 株式個数			
	人	賛成 (個)	賛成 (個)	反対 (個)	棄権 (個)	総個数	賛成率 (%)	株主数 (人)	発行株 (個)	議決 参加率
③号議案	7,055	76,744	87,650	1,259,033	3,457	1,350,140	6.5	93,284	2,152,919	62.7
④号議案	7,769	139,198	212,411	1,137,628	316	1,350,355	15.7	93,284	2,152,919	62.7
③, ④の何れかに賛同	8,112	143,047								
③, ④の両方に賛同	6,712	72,895								

*3号議案 原子力発電からの撤退

*4号議案 役員報酬の個別開示

* 閲覧初日は、撮影がアバウトになり2割程度で、株主番号や議決個数を読み取れなかった。そのため、北電の報告数量より少なくなっている。
<http://info.edinet-fsa.go.jp/>
 金融庁の臨時報告書掲載サイト

	人	賛成 (個)	議決 数の比 率	全株 個数の 比率
脱原発北電株主の会	52	353	0.026	0.016

3号議案は、株主会・提案者数の約150倍の人の賛同、提案者株数の約250倍の賛同が得られました。それだけ株主の方々に求められていた議案といえるでしょう。

・株主名簿閲覧

9/17-19東京のみずほ信託銀行へ③、④議案の両方に賛同を得た500株以上3340人分の名簿を持参。期間内に2600人分の住所を手書きで謄写する。